

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

K. Hayashi  
Filed 8/1/01  
Q 65676  
1 of 1

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 8月 3日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-235968

出 願 人

Applicant(s):

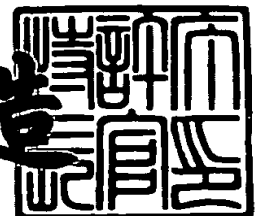
日本電気株式会社



2001年 5月31日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3049569

【書類名】 特許願  
【整理番号】 34803486  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 G06F 17/60  
G06F 13/00  
G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日  
本電気株式会社内

【氏名】 林 一彦

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100082935

【弁理士】

【氏名又は名称】 京本 直樹

【電話番号】 03-3454-1111

【選任した代理人】

【識別番号】 100082924

【弁理士】

【氏名又は名称】 福田 修一

【電話番号】 03-3454-1111

【選任した代理人】

【識別番号】 100085268

【弁理士】

【氏名又は名称】 河合 信明

【電話番号】 03-3454-1111

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008279

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9115699

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報配信システム及び配信方法、並びに情報配信における課金方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報を配信する情報配信手段と、前記情報配信手段からの発信される情報を記憶し必要に応じて再生する情報記憶再生装置と、前記情報配信手段並びに前記情報記憶再生装置が接続されている情報通信手段を含む情報配信システムであって、

前記情報記憶再生装置が、複数の前記配信情報のそれぞれの一部の情報を予め記憶する手段と、前記記憶した複数の一部の情報の中から選択し再生する手段と、前記選択した一部の情報の再生による複数の配信情報の中から選択したことの選択情報を前記情報配信手段に通知する手段を備え、

前記情報配信手段が、前記情報記憶再生装置における前記配信情報の一部の情報の再生終了と同時に、前記情報記憶再生装置が通知してきた前記再生を選択した配信情報の残りの情報を前記情報記憶再生装置に対し送信する手段を備え、

前記情報記憶再生装置が、さらに前記情報配信手段から送信されてきた配信情報の残りの情報を再生する手段を備えることを特徴とする情報配信システム。

【請求項 2】 情報を配信する情報配信手段と、前記情報配信手段からの発信される情報を記憶し必要に応じて再生する情報記憶再生装置と、前記情報配信手段並びに前記情報記憶再生装置が接続されている情報通信手段を含む情報配信システムであって、

前記情報記憶再生装置が、複数の前記配信情報のそれぞれの一部の情報を予め記憶する手段と、前記記憶した複数の一部の情報の中から選択し再生する手段と、前記選択した一部の情報の再生による複数の配信情報の中から選択したことの選択情報を前記情報配信手段に通知する手段を備え、

前記情報配信手段が、前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を再生している間に、前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の残りの情報を前記情報記憶再生装置に対し送信する手段を備え、

前記情報記憶再生装置が、さらに前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情

報の残りの情報を記憶する手段と、前記一部情報の再生が終了すると同時に、記憶している前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の残りの情報を再生する手段を備えることを特徴とする情報配信システム。

【請求項 3】 前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶する手段が、前記情報配信手段により予め設定された前記配信情報の一部の情報を記憶した記憶媒体を前記情報記憶再生装置へ接続することによって設置されるか、前記情報配信手段により予め設定された前記配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が、送信された前記配信情報の一部の情報を記憶媒体に記憶することによって設置されることを特徴とする前記請求項 1 乃至 2 記載の情報配信システム。

【請求項 4】 前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶する手段が、前記情報記憶再生装置により予め配信を指定した情報グループに属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が、前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が送信された前記情報グループに属する配信情報の一部の情報を記憶媒体に記憶することによって設置されることを特徴とする前記請求項 1 乃至 2 記載の情報配信システム。

【請求項 5】 前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶する手段が、前記情報記憶再生装置の利用者の利用実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が、前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が送信された前記情報記憶再生装置の利用者の利用実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を記憶媒体に記憶することによって設置されることを特徴とする前記請求項 1 乃至 2 記載の情報配信方法。

【請求項 6】 前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶する手段が、複数の前記情報記憶再生装置における複数の利用者の利用実績から優先順位をつけられて選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が、前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が送信された前記複数の前記情報記憶再生装置における複

数の利用者の利用実績から優先順位をつけられて選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を記憶媒体に記憶することによって設置されることを特徴とする前記請求項 1 乃至 2 記載の情報配信システム。

【請求項 7】 前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し前記情報記憶再生装置が受信し記憶する配信情報の一部の情報は、必要に応じて更新されることを特徴とする前記請求項 3 乃至 6 記載の情報配信システム。

【請求項 8】 前記情報記憶再生装置が、情報を記憶させる媒体として複数の記憶媒体を有し、前記配信情報の一部の情報を第 1 の前記記憶媒体に記録し、前記配信情報の一部の情報および前記情報配信手段から発信された前記配信情報の残りの情報を前記第 1 の記憶媒体と異なる前記記憶媒体に記録することを特徴とする前記請求項 1 乃至 7 記載の情報配信システム。

【請求項 9】 前記第 1 の記憶媒体と異なる記憶媒体にリムーバブルディスクを用いることを特徴とする前記請求項 8 記載の情報配信システム。

【請求項 10】 前記第 1 の記憶媒体と異なる記憶媒体に光ディスクを用いることを特徴とする前記請求項 8 記載の情報配信システム。

【請求項 11】 前記第 1 の記憶媒体と異なる記憶媒体に相変化光ディスクを用いることを特徴とする前記請求項 8 記載の情報配信システム。

【請求項 12】 前記第 1 の記憶媒体と異なる記憶媒体にテープ媒体を用いることを特徴とする前記請求項 8 記載の情報配信システム。

【請求項 13】 前記情報通信手段が電波による通信手段を含むことを特徴とする前記請求項 1 乃至 7 記載の情報配信システム。

【請求項 14】 前記情報通信手段が衛星を経由する電波による通信手段を含むことを特徴とする前記請求項 1 乃至 7 記載の情報配信システム。

【請求項 15】 前記情報通信手段が公衆電話回線による通信手段を含むことを特徴とする前記請求項 1 乃至 7 記載の情報配信システム。

【請求項 16】 前記情報通信手段がインターネットによる通信手段を含むことを特徴とする前記請求項 1 乃至 7 記載の情報配信システム。

【請求項 17】 前記配信情報が画像情報、または動画情報、または音声情

報を含むことを特徴とする前記請求項 1 乃至 8 記載の情報配信システム。

【請求項 1 8】 前記配信情報がデータ圧縮された情報を含むことを特徴とする前記請求項 1 乃至 8 記載の情報配信システム。

【請求項 1 9】 情報を配信する情報配信手段と、前記情報配信手段からの発信される情報を記憶し必要に応じて再生する情報記憶再生装置と、前記情報配信手段並びに前記情報記憶再生装置が接続されている情報通信手段を含む情報配信システムにおいて、

前記情報記憶再生装置が、複数の前記配信情報のそれぞれの一部の情報を予め記憶するステップと、

前記情報記憶再生装置が、前記記憶した複数の一部の情報の中から選択し再生するステップと、

前記情報記憶再生装置が、前記選択した一部の情報の再生による複数の配信情報の中から選択したことの選択情報を前記情報配信手段に通知するステップと、

前記情報配信手段が、前記情報記憶再生装置における前記一部の情報の再生終了と同時に、前記情報記憶再生装置が通知してきた前記再生を選択した配信情報の残りの情報を前記情報記憶再生装置に対し送信し、前記情報記憶再生装置が、前記情報配信手段から送信されてきた配信情報の残りの情報を再生するステップ、を含むことを特徴とする情報配信方法。

【請求項 2 0】 情報を配信する情報配信手段と、前記情報配信手段からの発信される情報を記憶し必要に応じて再生する情報記憶再生装置と、前記情報配信手段並びに前記情報記憶再生装置が接続されている情報通信手段を含む情報配信システムにおいて、

前記情報記憶再生装置が、複数の前記配信情報のそれぞれの一部の情報を予め記憶するステップと、

前記情報記憶再生装置が、前記記憶した複数の一部の情報の中から選択し再生するステップと、

前記情報記憶再生装置が、前記選択した一部の情報の再生による複数の配信情報の中から選択したことの選択情報を前記情報配信手段に通知するステップと、

前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を再生している間に、前記情

報配信手段が前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の残りの情報を前記情報記憶再生装置に対し送信し、前記情報記憶再生装置が前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の残りの情報を記憶するステップと、  
前記情報記憶再生装置が、前記一部情報の再生が終了すると同時に、記憶している前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の残りの情報を再生するステップ、  
を含むことを特徴とする情報配信方法。

【請求項 2 1】 前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶するステップが、前記情報配信手段により予め設定された前記配信情報の一部の情報を記憶した記憶媒体を前記情報記憶再生装置に接続するステップか、前記情報配信手段により予め設定された前記配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が、送信された前記配信情報の一部の情報を記憶するステップを含むことを特徴とする前記請求項 1 9 乃至 2 0 記載の情報配信方法。

【請求項 2 2】 前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶するステップが、前記情報記憶再生装置により予め配信を指定した情報グループに属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が送信された前記情報グループに属する配信情報の一部の情報を記憶するステップを含むことを特徴とする前記請求項 1 9 乃至 2 0 記載の情報配信方法。

【請求項 2 3】 前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶するステップが、前記情報記憶再生装置の利用者の利用実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が送信された前記情報記憶再生装置の利用者の利用実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を記憶するステップを含むことを特徴とする前記請求項 1 9 乃至 2 0 記載の情報配信方法。

【請求項 2 4】 前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶するステップが、複数の前記情報記憶再生装置における複数の利用者の利用



実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が送信された前記複数の前記情報記憶再生装置における複数の利用者の利用実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を記憶するステップを含むことを特徴とする前記請求項 1 9 乃至 2 0 記載の情報配信方法。

【請求項 2 5】 前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し前記情報記憶再生装置が受信し記憶する配信情報の一部の情報は、必要に応じて更新されることを特徴とする前記請求項 2 1 乃至 2 4 記載の情報配信方法。

【請求項 2 6】 請求項 1 乃至 1 8 記載の前記情報配信システムを用い、前記情報記憶再生装置を使用する情報利用者が、画像または映像または音声情報を前記情報配信手段から前記情報通信手段を介して配信を受け、前記情報配信手段を用いて前記画像または映像または音声情報を前記利用者に提供にする情報提供者が、前記情報利用者の前記画像または映像または音声情報の配信による利用に対し課金することを特徴とする情報配信における課金方法。

【請求項 2 7】 前記課金のタイミングは、前記情報記憶再生装置において、前記配信情報の一部の情報の再生の開始と同時に、あるいは前記配信情報の一部の情報の再生開始から一定時間が経過した後、あるいは前記配信情報の一部の情報の再生開始から一定情報量の再生が実行された後、のいずれかであることを特徴とする前記請求項 2 6 記載の情報配信における課金方法。

【請求項 2 8】 前記課金のタイミングは、前記情報記憶再生装置において、前記配信情報の残りの情報の再生の開始と同時に、あるいは前記配信情報の残りの情報の再生開始から一定時間が経過した後、あるいは前記配信情報の残りの情報の再生開始から一定情報量の再生が実行された後、のいずれかであることを特徴とする前記請求項 2 6 記載の情報配信における課金方法。

【請求項 2 9】 前記課金のタイミングは、前記情報記憶再生装置において、前記配信情報の残りの情報の再生の終了と同時に、あるいは前記配信情報の残りの情報の再生終了から一定時間が経過した後、のいずれかであることを特徴とす

る前記請求項 2 6 記載の情報配信における課金方法。

【請求項 3 0】 前記課金のタイミングは、前記情報配信手段における、前記配信情報の残りの情報の発信開始と同時に、あるいは前記配信情報の残りの情報の発信開始から一定時間が経過した後、あるいは残り情報の発信が開始から一定の情報量の送信が行われた後、のいずれかであることを特徴とする前記請求項 2 6 記載の情報配信における課金方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報配信手段から発信された情報を、情報通信手段を通じて情報記憶再生装置に送る情報配信システムおよび配信方法並びに課金方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

情報を記憶し必要に応じて再生する情報記憶再生装置と、情報記憶再生装置に情報を伝達する情報通信手段と、情報記憶再生装置に情報を発信する情報配信手段とを基本構成とする情報記憶再生システムとしては、従来コンピュータとインターネットとの組み合わせによる情報検索、もしくは携帯電話とインターネットとの組み合わせによる情報検索や情報配信等がよく知られている。

これらにおいては、コンピュータもしくは携帯電話で代表される情報記憶再生装置を情報利用者が操作することにより、その利用者が必要とする情報の項目を含むリクエスト情報が情報記憶再生装置と情報提供者が使用する情報配信手段とを結ぶインターネットで代表される通信手段を通じて情報配信手段に送られる。情報配信手段は、情報利用者の必要とする情報をサーバやデータベース等に收容されている情報の中から選別し、インターネットを通じて情報利用者に返送して、情報利用者が操作する情報記憶再生装置にその情報を自動的に記憶させ、同時にその情報を内蔵する表示機器に表示させるものである。

また、情報利用に対する課金や決済に関しては、インターネットを用いた情報提供では、情報利用に対する代価がゼロである場合がよく知られている。情報利用に対する代価が支払われる場合もあるが、課金のタイミングについては明確にな

っていない。

### 【 0 0 0 3 】

#### 【発明が解決しようとする課題】

従来の情報配信システムは、情報の利用者がコンピュータもしくは携帯電話を操作することにより、一連の関連情報が情報提供者から送られるものであった。そのため、操作してから情報が提供されるまでの待ち時間が必要であった。待ち時間は、通常のインターネットで利用される程度の情報量では、利用者が我慢できないほどのものではなかったが、通信容量に対する情報量の割合が大きくなると、利用者が我慢できないほど待ち時間が長くなると言う問題があった。

また、情報提供に対する課金が情報提供の申し込み時点で行われているため、情報利用者が提供情報を購入する以前に情報内容を確認するためには、情報提供者により別途設定された概要情報を読み込んでこれを確認してから課金の承諾の判断をするしかなかった。これは、情報提供者にとっては概要情報を別途作成する必要があり、そのためのコストがかかるというデメリットを有していた。概要情報の作成は、提供情報の内容が文字情報の場合には比較的容易であるが、画像・映像情報や音声情報の場合は作成が困難であったり、多額のコストがかかる場合が多かった。

### 【 0 0 0 4 】

#### 【課題を解決するための手段】

本発明の請求項 1 に係わる発明の情報配信システムは、情報を配信する情報配信手段と、前記情報配信手段からの発信される情報を記憶し必要に応じて再生する情報記憶再生装置と、前記情報配信手段並びに前記情報記憶再生装置が接続されている情報通信手段を含む情報配信システムであって、前記情報記憶再生装置が、複数の前記配信情報のそれぞれの一部の情報を予め記憶する手段と、前記記憶した複数の一部の情報の中から選択し再生する手段と、前記選択した一部の情報の再生による複数の配信情報の中から選択したことの選択情報を前記情報配信手段に通知する手段を備え、前記情報配信手段が、前記情報記憶再生装置における前記配信情報の一部の情報の再生終了と同時に、前記情報記憶再生装置が通知してきた前記再生を選択した配信情報の残りの情報を前記情報記憶再生装置に対

し送信する手段を備え、前記情報記憶再生装置が、さらに前記情報配信手段から送信されてきた配信情報の残りの情報を再生する手段を備えることを特徴とする。

また、本発明の請求項 2 に係わる発明の情報配信システムは、情報を配信する情報配信手段と、前記情報配信手段からの発信される情報を記憶し必要に応じて再生する情報記憶再生装置と、前記情報配信手段並びに前記情報記憶再生装置が接続されている情報通信手段を含む情報配信システムであって、前記情報記憶再生装置が、複数の前記配信情報のそれぞれの一部の情報を予め記憶する手段と、前記記憶した複数の一部の情報の中から選択し再生する手段と、前記選択した一部の情報の再生による複数の配信情報の中から選択したことの選択情報を前記情報配信手段に通知する手段を備え、前記情報配信手段が、前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を再生している間に、前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の残りの情報を前記情報記憶再生装置に対し送信する手段を備え、前記情報記憶再生装置が、さらに前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の残りの情報を記憶する手段と、前記一部情報の再生が終了すると同時に、記憶している前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の残りの情報を再生する手段を備えることを特徴とする。

また、本発明の請求項 3 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 1 乃至 2 に係わる発明記載の前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶する手段が、前記情報配信手段により予め設定された前記配信情報の一部の情報を記憶した記憶媒体を前記情報記憶再生装置へ接続することによって設置されるか、前記情報配信手段により予め設定された前記配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が、送信された前記配信情報の一部の情報を記憶媒体に記憶することによって設置されることを特徴とする。

また、本発明の請求項 4 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 1 乃至 2 に係わる発明記載の前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶する手段が、前記情報記憶再生装置により予め配信を指定した情報グループに属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が、前記情報通信手段を介

して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が送信された前記情報グループに属する配信情報の一部の情報を記憶媒体に記憶することによって設置されることを特徴とする。

また、本発明の請求項 5 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 1 乃至 2 に係わる発明記載の前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶する手段が、前記情報記憶再生装置の利用者の利用実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が、前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が送信された前記情報記憶再生装置の利用者の利用実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を記憶媒体に記憶することによって設置されることを特徴とする。

また、本発明の請求項 6 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 1 乃至 2 に係わる発明記載の前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶する手段が、複数の前記情報記憶再生装置における複数の利用者の利用実績から優先順位をつけられて選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が、前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が送信された前記複数の前記情報記憶再生装置における複数の利用者の利用実績から優先順位をつけられて選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を記憶媒体に記憶することによって設置されることを特徴とする。

また、本発明の請求項 7 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 3 乃至 6 に係わる発明記載の前記情報配信手段が、前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し前記情報記憶再生装置が受信し記憶する配信情報の一部の情報は、必要に応じて更新されることを特徴とする。

また、本発明の請求項 8 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 1 乃至 7 に係わる発明記載の前記情報記憶再生装置が、情報を記憶させる媒体として複数の記憶媒体を有し、前記配信情報の一部の情報を第 1 の前記記憶媒体に記録し、前記配信情報の一部の情報および前記情報配信手段から発信された前記配信情報の残りの情報を前記第 1 の記憶媒体と異なる前記記憶媒体に記録することを特

徴とする。

また、本発明の請求項 9 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 8 に係わる発明記載の前記第 1 の記憶媒体と異なる記憶媒体にリムーバブルディスクを用いることを特徴とする。

また、本発明の請求項 1 0 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 8 に係わる発明記載の前記第 1 の記憶媒体と異なる記憶媒体に光ディスクを用いることを特徴とする。

また、本発明の請求項 1 1 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 8 に係わる発明記載の前記第 1 の記憶媒体と異なる記憶媒体に相変化光ディスクを用いることを特徴とする。

また、本発明の請求項 1 2 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 8 に係わる発明記載の前記第 1 の記憶媒体と異なる記憶媒体にテープ媒体を用いることを特徴とする。

また、本発明の請求項 1 3 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 1 乃至 7 に係わる発明記載の前記情報通信手段が電波による通信手段を含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 1 4 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 1 乃至 7 に係わる発明記載の前記情報通信手段が衛星を経由する電波による通信手段を含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 1 5 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 1 乃至 7 に係わる発明記載の前記情報通信手段が公衆電話回線による通信手段を含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 1 6 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 1 乃至 7 に係わる発明記載の前記情報通信手段がインターネットによる通信手段を含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 1 7 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 1 乃至 8 に係わる発明記載の前記配信情報が画像情報、または動画情報、または音声情報を含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 1 8 に係わる発明の情報配信システムは、前記請求項 1 乃

至 8 に係わる発明記載の前記配信情報がデータ圧縮された情報を含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 1 9 に係わる発明の情報配信方法は、情報を配信する情報配信手段と、前記情報配信手段からの発信される情報を記憶し必要に応じて再生する情報記憶再生装置と、前記情報配信手段並びに前記情報記憶再生装置が接続されている情報通信手段を含む情報配信システムにおいて、前記情報記憶再生装置が、複数の前記配信情報のそれぞれの一部の情報を予め記憶するステップと、前記情報記憶再生装置が、前記記憶した複数の一部の情報の中から選択し再生するステップと、前記情報記憶再生装置が、前記選択した一部の情報の再生による複数の配信情報の中から選択したことの選択情報を前記情報配信手段に通知するステップと、前記情報配信手段が、前記情報記憶再生装置における前記一部の情報の再生終了と同時に、前記情報記憶再生装置が通知してきた前記再生を選択した配信情報の残りの情報を前記情報記憶再生装置に対し送信し、前記情報記憶再生装置が、前記情報配信手段から送信されてきた配信情報の残りの情報を再生するステップ、を含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 2 0 に係わる発明の情報配信方法は、情報を配信する情報配信手段と、前記情報配信手段からの発信される情報を記憶し必要に応じて再生する情報記憶再生装置と、前記情報配信手段並びに前記情報記憶再生装置が接続されている情報通信手段を含む情報配信システムにおいて、前記情報記憶再生装置が、複数の前記配信情報のそれぞれの一部の情報を予め記憶するステップと、前記情報記憶再生装置が、前記記憶した複数の一部の情報の中から選択し再生するステップと、前記情報記憶再生装置が、前記選択した一部の情報の再生による複数の配信情報の中から選択したことの選択情報を前記情報配信手段に通知するステップと、前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を再生している間に、前記情報配信手段が前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の残りの情報を前記情報記憶再生装置に対し送信し、前記情報記憶再生装置が前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の残りの情報を記憶するステップと、前記情報記憶再生装置が、前記一部情報の再生が終了すると同時に、記憶している前記情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の残りの情報を再生するステ

ップ、を含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 2 1 に係わる発明の情報配信方法は、前記請求項 1 9 乃至 2 0 に係わる発明記載の前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶するステップが、前記情報配信手段により予め設定された前記配信情報の一部の情報を記憶した記憶媒体を前記情報記憶再生装置に接続するステップか、前記情報配信手段により予め設定された前記配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が、送信された前記配信情報の一部の情報を記憶するステップを含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 2 2 に係わる発明の情報配信方法は、前記請求項 1 9 乃至 2 0 に係わる発明記載の前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶するステップが、前記情報記憶再生装置により予め配信を指定した情報グループに属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が送信された前記情報グループに属する配信情報の一部の情報を記憶するステップを含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 2 3 に係わる発明の情報配信方法は、前記請求項 1 9 乃至 2 0 に係わる発明記載の前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶するステップが、前記情報記憶再生装置の利用者の利用実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し、前記情報記憶再生装置が送信された前記情報記憶再生装置の利用者の利用実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を記憶するステップを含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 2 4 に係わる発明の情報配信方法は、前記請求項 1 9 乃至 2 0 に係わる発明記載の前記情報記憶再生装置が前記配信情報の一部の情報を予め記憶するステップが、複数の前記情報記憶再生装置における複数の利用者の利用実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を、前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信



し、前記情報記憶再生装置が送信された前記複数の前記情報記憶再生装置における複数の利用者の利用実績から優先順位をつけられ選別された情報群に属する配信情報の一部の情報を記憶するステップを含むことを特徴とする。

また、本発明の請求項 2 5 に係わる発明の情報配信方法は、前記請求項 2 1 乃至 2 4 に係わる発明記載の前記情報配信手段が前記情報通信手段を介して前記情報記憶再生装置に送信し前記情報記憶再生装置が受信し記憶する配信情報の一部の情報は、必要に応じて更新されることを特徴とする。

また、本発明の請求項 2 6 に係わる発明の情報配信における課金方法は、請求項 1 乃至 1 8 に係わる発明記載の前記情報配信システムを用い、前記情報記憶再生装置を使用する情報利用者が、画像または映像または音声情報を前記情報配信手段から前記情報通信手段を介して配信を受け、前記情報配信手段を用いて前記画像または映像または音声情報を前記利用者に提供にする情報提供者が、前記情報利用者の前記画像または映像または音声情報の配信による利用に対し課金することを特徴とする。

また、本発明の請求項 2 7 に係わる発明の情報配信における課金方法は、請求項 2 6 に係わる発明記載の前記課金のタイミングが、前記情報記憶再生装置において、前記配信情報の一部の情報の再生の開始と同時に、あるいは前記配信情報の一部の情報の再生開始から一定時間が経過した後、あるいは前記配信情報の一部の情報の再生開始から一定情報量の再生が実行された後、のいずれかであることを特徴とする。

また、本発明の請求項 2 8 に係わる発明の情報配信における課金方法は、請求項 2 6 に係わる発明記載の前記課金のタイミングが、前記情報記憶再生装置において、前記配信情報の残りの情報の再生の開始と同時に、あるいは前記配信情報の残りの情報の再生開始から一定時間が経過した後、あるいは前記配信情報の残りの情報の再生開始から一定情報量の再生が実行された後、のいずれかであることを特徴とする。

また、本発明の請求項 2 9 に係わる発明の情報配信における課金方法は、請求項 2 6 に係わる発明記載の前記課金のタイミングが、前記情報記憶再生装置において、前記配信情報の残りの情報の再生の終了と同時に、あるいは前記配信情報の残

りの情報の再生終了から一定時間が経過した後、のいずれかであることを特徴とする。

また、本発明の請求項 3 0 に係わる発明の情報配信における課金方法は、請求項 2 6 に係わる発明記載の前記課金のタイミングが、前記情報配信手段における、前記配信情報の残りの情報の発信開始と同時に、あるいは前記配信情報の残りの情報の発信開始から一定時間が経過した後、あるいは残り情報の発信が開始から一定の情報量の送信が行われた後、のいずれかであることを特徴とする。

【 0 0 0 5 】

〔作用〕

本発明の情報配信システム並びに配信方法においては、情報利用者が利用しようと考えている配信情報の一部（一部情報）が、情報利用者が使用する情報記憶再生装置を操作する瞬間にはすでに情報記憶再生装置に内蔵された記憶媒体上に書き込まれている。そのため、必要な情報の一部は直ちにアクセスして再生を開始することができる。配信情報の残りの部分は、通信手段を通じて情報配信手段から読み込む（ダウンロード）必要があり、そのためにある程度の時間が必要とされるが、記憶媒体上に記録されている一部情報の再生が終了するまでにも時間が消費される。一部情報のデータ量が小さければその再生は瞬時に終了するが、相当量のデータ量がある場合にはそれに応じた再生時間が必要になる。そこで、一部情報のデータ量の大きさを適量に設定することにより、一部情報の再生がほぼ終了した頃に情報配信手段から情報記憶再生装置への残り情報の送付が行われ、リアルタイムに残り情報の再生が行われる（請求項 1 及び請求項 1 9）。また、残り情報のデータ量が大きい場合には、残り情報は情報記憶装置に記憶されると同時にその再生が可能になる（請求項 2 及び請求項 2 0）。したがって、情報利用者が利用しようとする情報は、情報利用者が情報記憶再生装置を操作すると同時に提供されると共に、残り情報も含めて一連の情報を途切れることなしに連続的に提供することが可能になる。

【 0 0 0 6 】

情報記憶再生装置に記憶させる一部情報の範囲は種々に選択することができる。最も単純な一部情報の設定法は、情報提供者が保有するすべての情報について

、その一部を情報記憶再生装置に予め記憶しておくことである（請求項 3 及び 2 1）。しかし、情報提供者が保有する情報の数が膨大な場合には、すべての情報についてその一部情報を情報記憶再生装置に記憶しておくことは記憶容量の関係から困難である。したがって、保有情報数が多い場合には情報記憶再生装置に記憶させておく情報の絞り込みが必要となる。

情報の絞り込みの方法にはいくつかあるが、1つの方法としては、情報提供者が予め配信情報をいくつかのグループに分割しておき、その中から希望のグループを情報再生装置の利用者が選択する方法である（請求項 4 及び 2 2）。情報提供者は利用者の磁気記憶再生装置の記憶容量を勘案し、配信情報を適当な大きさに分割することができる。また、利用者を選択させることにより希望に合った情報を提供することができる。

2つ目の方法は、情報提供者により提供グループを選択することである（請求項 3 及び 2 1）。この情報グループ選択手段によると、利用者が利用したいであろうと提供者が推察する情報をグループとして利用者に提案することができる。また、利用者が利用したいと推察される情報に対してある一定の割合で提供者が利用者に利用させたい情報を組み込むことができる。

3番目の方法は、情報利用者の利用実績に応じて提供情報に優先順位をつけ、優先順位にしたがってある優先順位で提供情報と非提供情報とを区別する方法である（請求項 5 及び 2 3）。この方法では、利用者が興味ある情報を優先的に提供できるという長所がある。また、情報提供システムの設定により提供した情報と類似の情報に提供情報と同じ優先順位をつけることにより、利用者の利便性を図ることができる。

4番目の方法は、複数の利用者の利用実績から情報に優先順位をつけ、あるところで提供情報と非提供情報とを区別する方法である（請求項 6 及び 2 4）。利用実績を測定する対象者のグループもしくは範囲を提供者側で設定することにより、利用者の利便性を図ることができるようになる。

利用者に提供される情報は必要に応じて更新されることにより、提供情報範囲が陳腐化することを防ぐことができる（請求項 7 及び 2 5）。

【0 0 0 7】

情報配信手段から情報記憶再生装置に送信された残り情報は、いったん情報記憶再生装置に記憶した後に再生する（請求項 2 及び 2 0）。情報通信手段の情報転送スピードが遅い場合には、情報再生中に待ち時間が生じ、情報提供が不連続になるが、情報記憶再生装置に記憶した後に再生することにより、情報を連続的に提供したり、不連続であるにしても再生スピードをコントロールし、違和感がないようにすることができる。

## 【 0 0 0 8 】

利用者が情報記憶再生装置を操作することにより、あるいは情報記憶再生装置の状態に応じて自動的に、その情報が情報通信手段を通じて情報配信手段とそれを使用するあるいは情報提供者に伝達される。これにより、提供実績を情報提供手段もしくは情報提供者に伝えて、提供情報グループ作成のもととなるデータを蓄えたり、情報利用者が選択する情報グループを交換することが可能になる。

## 【 0 0 0 9 】

情報記録再生装置には、ハードディスクを媒体に用いた記録再生装置を内蔵することにより、記憶可能な情報量の増大を図ることができる。

情報記憶装置に複数の記録媒体を設置し、そのうちの一部に、情報記憶装置に予め記憶させてある情報のうち利用者が指定した情報をコピーするとともに、残り情報をダウンロードし合体させることにより、1つの連続した情報を含むディスクを作成することができる。ダウンロードするディスクに、リムーバブル媒体、例えば相変化型光ディスクなどの光ディスクやテープ媒体、を用いることにより、ダウンロードした媒体を情報記憶再生装置から取り外して保管することができるようになる（請求項 8 乃至 1 2）。

## 【 0 0 1 0 】

情報通信手段としては、衛星を経由する電波などの電波を用いることにより、広範囲の情報提供手段からの情報を情報記憶再生装置に送付することができる。インターネットに代表される、電話回線を利用した通信手段を用いることは、広範囲の情報提供手段からの情報を情報記憶装置に送付するのに有効である（請求項 1 3 乃至 1 6）。

## 【 0 0 1 1 】

本発明は、情報量の多い情報を途切れたり、利用者に違和感を感じさせたりすることなしに、提供することにあるので、提供情報としては動画情報などの画像情報や、音楽情報、音声情報などの、情報量の多い情報を提供する場合に適用するのが、特徴を生かしやすい（請求項 1 7）。これらの情報は圧縮されて送付されることにより、より多くの情報量を送付することができる（請求項 1 8）。

【 0 0 1 2 】

提供情報が有料の場合に、その課金のタイミングは、

- A. 一部情報の再生開始と同時に、
- B. 一部情報の利用が始まってからある時間が経過したとき、
- C. 一部情報の利用が始まってからある量の情報提供が行われた後、
- D. 残り情報の提供が始まると同時、
- E. 残り情報の提供が始まってからある時間が経過した後、
- F. 残り情報の提供が始まってからある量の情報が提供された後、および
- G. 残り情報の提供が終了した後、

のいずれかを選択することができる（請求項 2 6 乃至 3 0）。

このうち、A の場合は早期に課金することができるので、情報提供者は利用者に対して確実に課金することが可能になる。ただし、情報利用者は情報内容を全く確認できないうちに課金されることになる。それに対して、B から G の場合は、利用者は情報内容をある程度理解した上で課金されることになるので、利用者の利便性が図られることになる。

【 0 0 1 3 】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

図 1 は本発明の情報配信システムの構成を示す図であって、パソコンや、デジタルテレビが一例である情報家電等のデータや映像・画像・音声等のマルチメディア情報を記憶し必要に応じて再生する情報記憶再生装置 2 と、情報記憶再生装置に情報を送り込む情報通信手段 1 と、情報記憶再生装置 2 に情報を配信する情報配信手段 3 とを基本構成とする。

情報通信手段 1 としては、電話回線のような有線の公衆通信網のほかに電波によ

る通信手段を含む場合が考えられる。また、通信衛星、放送衛星、気象衛星、および軍事衛星に代表される衛星を経由する通信手段を含むことにより、より遠距離の情報配信手段と情報記憶再生装置との間の通信が可能になる。通信衛星放送や放送衛星放送など放送の利用は有力な候補である。また、インターネットの利用などによる通信手段を含むことも可能である。

配信される情報の内容としては、動画情報に代表される画像情報や音声情報が考えられる。具体的には、一例として動画情報を取り扱うことにより情報記憶再生システムを映画等の動画情報配信サービスに用いることができるし、音声情報を取り扱うことにより、音楽等の音声情報配信サービスに用いることができる。この場合、情報配信手段3は、オン・デマンド型の大容量デジタルオーディオ・ビデオファイルサーバ等を想定することができる。

情報通信手段1には、情報利用者における情報記憶再生装置2への情報提供者の情報配信手段3からの情報配信サービスに対して、情報利用者への課金を行う課金システム4と、課金に対して決済を行う決済システム5とが接続されている。

#### 【0014】

図2は本発明の情報配信システムを用いた情報配信サービスの第1の実施形態を示す情報の流れ図である。

まず、情報利用者が利用しようと考えている情報の一部（一部情報）が、情報利用者が利用しようとして情報記憶再生システムを操作する瞬間にはすでに情報記憶再生装置2に内蔵された記憶媒体上に記憶されている（S1）。この一部情報は、本実施形態の情報記憶再生装置2においては、情報通信手段1を通じて情報配信手段3から新たにインストールしても、また、持ち運び可能な記録装置もしくは記録媒体に予めインストールしておいて、情報記憶再生装置に接続してもかまわない。

一部情報は具体的には、情報配信サービスとして例えば映画等の動画情報配信サービスや音楽配信サービスを想定したとき、映画タイトルのメニューと、メニュー中の所望するタイトルをクリックしたときに現れる数分間の冒頭シーンや曲目メニューと曲の「さわり」等を想定することができる。

この一部情報から情報利用者は、情報記憶再生装置2から、情報通信手段1を通

じて情報配信手段 3 を操作することにより提供を希望する情報が指定され（S 2）、指定された情報の一部情報の再生が情報記憶再生装置 2 上において開始される（S 3）。それと同時に、当前記情報が選択されたという情報が、情報記憶再生装置 2 から情報通信手段 1 を通して情報配信手段 3 に送られ、それを受けて情報配信手段 3 では、選択情報の「残りの情報」を情報記憶装置に発信する指示が出され（S 4）、「残りの情報」が情報利用者の使用する情報記憶再生装置 2 に向けて情報発信が行われる（S 5）。残りの情報は、圧縮して送信される。情報記憶再生装置 2 において、一部情報の再生終了（S 6）と同時に、情報配信手段 3 から圧縮されて送信されてきた残りの情報が解凍されてリアルタイムに再生される（S 7、S 8）。

一部情報を記憶させておく記録媒体としてはハードディスクなどの、大容量記録が可能な媒体が適当である。

#### 【0015】

図 3 は本発明の情報配信システムを用いた情報配信サービスの第 2 の実施形態を示す情報の流れ図である。

一部情報は、予め情報記憶再生装置 2 に記憶されている（S 1）。これは、図 2 の第 1 の実施形態と同様、情報通信手段 1 を通じて情報配信手段 3 からインストールしても、持ち運び可能な記録装置もしくは記録媒体に予めインストールしてにおいて、情報記憶再生装置に接続してもかまわない。情報記憶再生装置 2 から情報配信手段 3 を操作することにより提供を希望する情報が指定され（S 2）、指定された情報の一部情報の再生が開始される（S 3）。それと同時に、当前記情報が選択されたという情報が、情報記憶再生装置 2 から情報通信手段 1 を通して情報配信手段 3 に送られ、それを受けて選択情報の残りの情報を情報記憶再生装置 2 に発信する指示が出され（S 4）、実際に情報発信が行われる（S 5）。残り情報はいったん情報記憶再生装置に内蔵される媒体に記録される（S 30）。当前記一部情報の再生が終了（S 6）したのを受け、残り情報が情報記憶再生装置 2 において再生される。残り情報は圧縮して送信され、情報記憶再生装置 2 において解凍されて再生される（S 7、S 8）。

一部情報の記憶に加え、残り情報を記録させるのに用いる記録媒体としては、ハ

ードディスクなどの、大容量記録が可能な媒体が適当である。

【0016】

図4は本発明の情報配信システムを用いた情報配信サービスの第3の実施形態を示す情報の流れ図である。

本実施形態では、情報記憶再生装置2にインストールしておく一部情報が図3の実施例の場合とは異なる。情報利用者である情報記憶再生装置2の利用者が利用情報のグループを指定し、情報配信手段3に送信するし（S40）。情報配信手段3が当該情報グループの一部情報群を情報記憶再生装置2に対して発信し（S41）、情報記憶再生装置2は、受信した情報グループの一部情報群をインストールして設置する（S1）。以降の手順は、図3の第2の実施形態と同様である。

一部情報の情報グループは、映像配信サービスの場合、例えば西部劇や記録映像等の映画プログラムのカテゴリなど、音楽配信サービスでは、ポップスや歌謡曲等の音楽の種別、並びに映画の冒頭シーンや音曲の「さわり」が想定される。

情報利用者による情報グループの選択の情報が情報利用者から情報提供者に送付される際（S40）に用いられる情報通信手段は、残り情報を情報記憶再生装置2に送信する（S5）のに用いられる手段と異なるものであってもかまわない。

例えば、情報記憶再生装置2から分離された無線携帯端末等の手段を用いて、情報利用者の指定する情報グループを情報配信手段3を介して情報提供者に伝える場合もあり得る。

また、情報配信手段3からの一部情報群の情報記憶再生装置2におけるインストール（S1）は、必ずしも情報通信手段1を通して行われる必要はなく、磁気記録装置やリムーバブルディスクに記録された状態で物理的に運搬された後に、これらが情報記憶再生装置2に接続されてもかまわない。また、情報記憶再生装置2に設置された一部情報群は、適宜インストールし直すことも可能である。

【0017】

図5は本発明の情報配信システムを用いた情報配信サービスの第4の実施形態を示す情報の流れ図である。

この第4の実施形態は、情報記憶再生装置2にインストールしておく一部情報の



情報グループの選択が、第 3 の実施形態の場合と異なり、情報利用者側ではなく、情報提供側の情報配信手段 3 で独自に決定され（S 5 0）、該当グループに属する一部情報群を情報記憶再生装置 2 に送信する（S 4 1）場合を示すものである。情報記憶再生装置 2 における一部情報の設置（S 1）以降、残り情報の再生終了（S 8）までの手順は、図 3 ～ 4 に示した第 2 ～ 3 の実施形態の場合と同様に進行する。

一部情報群のインストールは、必ずしも情報通信手段 1 を通して行われる必要はなく、磁気記録装置やリムーバブルディスクに記録された状態で運ばれた後に情報記憶再生装置 2 に接続されてもかまわない。また、情報記憶再生装置 2 に予め記録されている一部情報群は、適宜インストールし直すことも可能である。

#### 【 0 0 1 8 】

図 6 は本発明の情報配信システムを用いた情報配信サービスの第 5 の実施形態を示す情報の流れ図である。

本実施例は、情報提供者から情報配信手段によって送信され、情報利用者側の情報記憶再生装置 2 に予め記憶させておく、情報グループに属する一部情報群が、図 5 の第 4 の実施形態における場合と異なり、情報記憶再生装置 2 利用者の情報利用実績を、情報通信手段 1 を通じてフィードバックをかける（S 6 0）ことにより更新する場合を示す。情報記憶再生装置 2 における一部情報の設置（S 1）以降、残り情報の再生終了（S 8）までの手順は、図 3 ～ 5 に示した第 2 ～ 4 の実施形態の場合と同様に進行する。

情報配信手段 3 における、情報グループに属する一部情報群の更新（S 6 0）の仕方としては、例えば、利用実績の高い情報に関してはその関連情報も含めて一部情報群に含ませ、同時に利用実績の低い情報の一部情報を削除する方法が考えられる。一部情報群の更新は、利用者が情報を利用するたびに行うことも、一定期間もしくは一定回数の利用後にその間の利用実績を勘案して行うことも可能である。

#### 【 0 0 1 9 】

図 7 は本発明の情報配信システムを用いた情報配信サービスの第 6 の実施形態を示す情報の流れ図である。

本実施例は、情報提供者から情報配信手段によって送信され、情報利用者側の情報記憶再生装置 2 に予め記憶させておく、情報グループに属する一部情報群が、図 6 の第 5 の実施形態における場合と異なり、複数の情報記憶再生装置 2 を利用する複数の利用者の情報利用実績を、情報通信手段 1 を通じてフィードバックをかける（S 7 0）ことにより更新する場合を示す。情報記憶再生装置 2 における一部情報の設置（S 1）以降、残り情報の再生終了（S 8）までの手順は、図 3 ～ 6 に示した第 2 ～ 5 の実施形態の場合と同様に進行する。

情報配信手段 3 における、情報グループに属する一部情報群の更新（S 6 0）の仕方としては例えば、利用実績の高い情報に関してはその関連情報も含めて一部情報群に含ませ、同時に利用実績の低い情報の一部情報を削除する方法が考えられる。一部情報群の更新は、利用者が情報を利用するたびに行うことも、一定期間もしくは一定回数の利用後にその間の利用実績を勘案して行うことも可能である。

#### 【 0 0 2 0 】

図 8 は本発明の情報配信システムを用いた情報配信サービスの第 7 の実施形態を示す情報の流れ図である。

一部情報は、予め情報記憶再生装置 2 に記憶されている（S 1）。これは、情報通信手段 1 を通じて情報配信手段 3 からインストールしても、持ち運び可能な記録装置もしくは記録媒体に予めインストールしておいて、情報記憶再生装置 2 に接続してもかまわない。情報配信手段 3 を操作することにより提供を希望する情報が指定され（S 2）。指定された情報の一部情報の再生が開始される、再生された情報は、情報記憶再生装置 2 が備える第 2 記録媒体への記録が開始される（S 8 0）。

第 2 記録媒体とは、2 枚の媒体のうちの 1 枚という意味ではなく、一部情報群を予め記憶させておいたり、情報配信手段 3 から送られてくる残り情報を記録させておく媒体もしくは媒体領域または群を第 1 媒体とし、それと区別される媒体もしくは媒体領域または群という意味である。

指定された情報の一部情報の再生開始と同時に当該情報が選択されたという情報が、情報記憶再生装置 2 から情報通信手段 1 を通じて情報配信手段 3 に送られ、

情報配信手段 3 では、それを受けて選択情報の残りの情報を情報記憶再生装置 2 に発信する指示が出され（S 4）、残りの情報が情報配信手段 3 から情報記憶再生装置 2 に発信が行われる（S 5）。情報記憶再生装置 2 では、送信されてきた残り情報はいったん情報記憶再生装置 2 に内蔵される第 1 媒体に記録される（S 6）。一部情報の再生と第 2 記録媒体への記録が終了（S 8 1）したのを受け、残り情報が情報記憶再生装置において再生され、第 2 媒体に記録される（S 8 2、S 8 3）。

こうして、第 2 媒体には利用者により指定された情報がすべて記録されることになる。第 2 媒体の有力な候補は、相変化光ディスクに代表される光ディスク、リムーバブル磁気ディスク、光テープ媒体、および磁気テープ媒体などの、リムーバブル媒体である。

#### 【 0 0 2 1 】

図 9 は本発明の情報配信システムを用いた情報配信サービスの第 8 の実施形態である課金システム並びに決済システムを含んだ情報の流れ図である。

図 9 に示す実施例は、図 2 の第 1 の実施形態における、情報利用者側の情報記憶再生装置 2 においての一部情報の再生（S 3）と同時に情報通信手段 1 を通して課金システム 4 に情報を利用したという事実が伝えられ、課金される（S 9 0）場合を示す。課金情報はさらに決済システム 5 に送られ、利用者からの入金に対する決済が行われる（S 9 1）。

情報利用者側の情報記憶再生装置 2 から課金システムに通知する課金のタイミングは、上記の一部情報の再生開始のタイミング以外にも種々のステップが考えられる。また、課金は課金情報通知のタイミングと実際の課金を行うタイミングとにずれを設ける場合もある。

すなわち、課金情報通知のタイミングは、一部情報の再生開始と同時（S 3）、再生開始から一定時間経過後、一部情報の再生終了と同時（S 6）、再生終了から一定時間経過後、残り情報の再生開始と同時（S 7）、再生開始から一定時間経過後、残り情報の再生終了と同時（S 8）、再生終了から一定時間経過後の 8 つのタイミングが考えられ、実際の課金のタイミングは課金情報通知と同時に課金する場合と、一定時間経過後に課金する場合の 2 つのタイミングが考えられる

【 0 0 2 2 】

図 1 0 は本発明の情報配信システムを用いた情報配信サービスの第 9 の実施形態である課金システム並びに決済システムを含んだ情報の流れ図である。

図 1 0 は、情報提供者側からの課金情報の発信の場合を示し、情報配信手段 3 において残り情報を情報記憶再生装置 2 に送信する際に、情報が課金システム 4 に送られて課金され、さらに課金情報が決済システム 5 に送られ決済される。

情報提供者側の情報発生手段 3 から課金システムに通知する課金のタイミングは、残り情報を情報記憶再生装置に送信すると同時に課金される場合、送信を開始してからある量の残り情報が再生された後に課金される場合、送信を開始してからある時間が経過した後に課金される場合、および送信が終了してから課金する場合、があり得る。

【 0 0 2 3 】

【発明の効果】

本発明の適用により、情報配信手段 3、情報通信手段 1、および情報記憶再生装置 2 からなる情報配信システムにおいて、遅滞のないスムーズな情報提供が可能になる。また、情報提供者が情報提供内容の概要を別途作成することなしに、情報利用者が情報内容を一部把握することが可能になった。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の情報配信システムの構成を示す図である。

【図 2】

本発明の第 1 の実施形態の情報配信システムにおける情報のフローを示す図である。

【図 3】

本発明の第 2 の実施形態の情報配信システムにおける情報のフローを示す図である。

【図 4】

本発明の第 3 の実施形態の情報配信システムにおける情報のフローを示す図で

ある。

【図 5】

本発明の第 4 の実施形態の情報配信システムにおける情報のフローを示す図である。

【図 6】

本発明の第 5 の実施形態の情報配信システムにおける情報のフローを示す図である。

【図 7】

本発明の第 6 の実施形態の情報配信システムにおける情報のフローを示す図である。

【図 8】

本発明の第 7 の実施形態の情報配信システムにおける情報のフローを示す図である。

【図 9】

本発明の第 8 の実施形態の情報配信システムにおける情報のフローを示す図である。

【図 1 0】

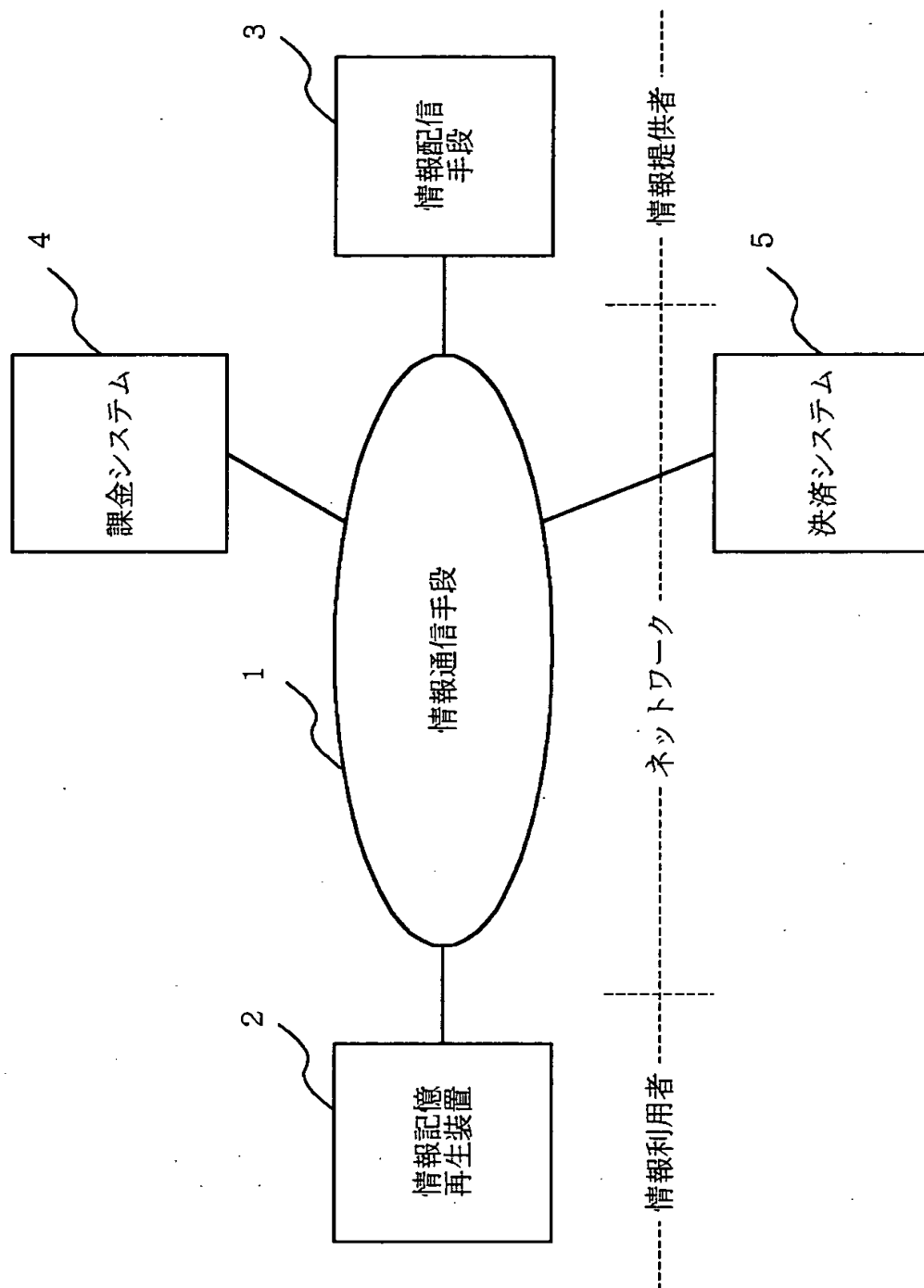
本発明の第 9 の実施形態の情報配信システムにおける情報のフローを示す図である。

【符号の説明】

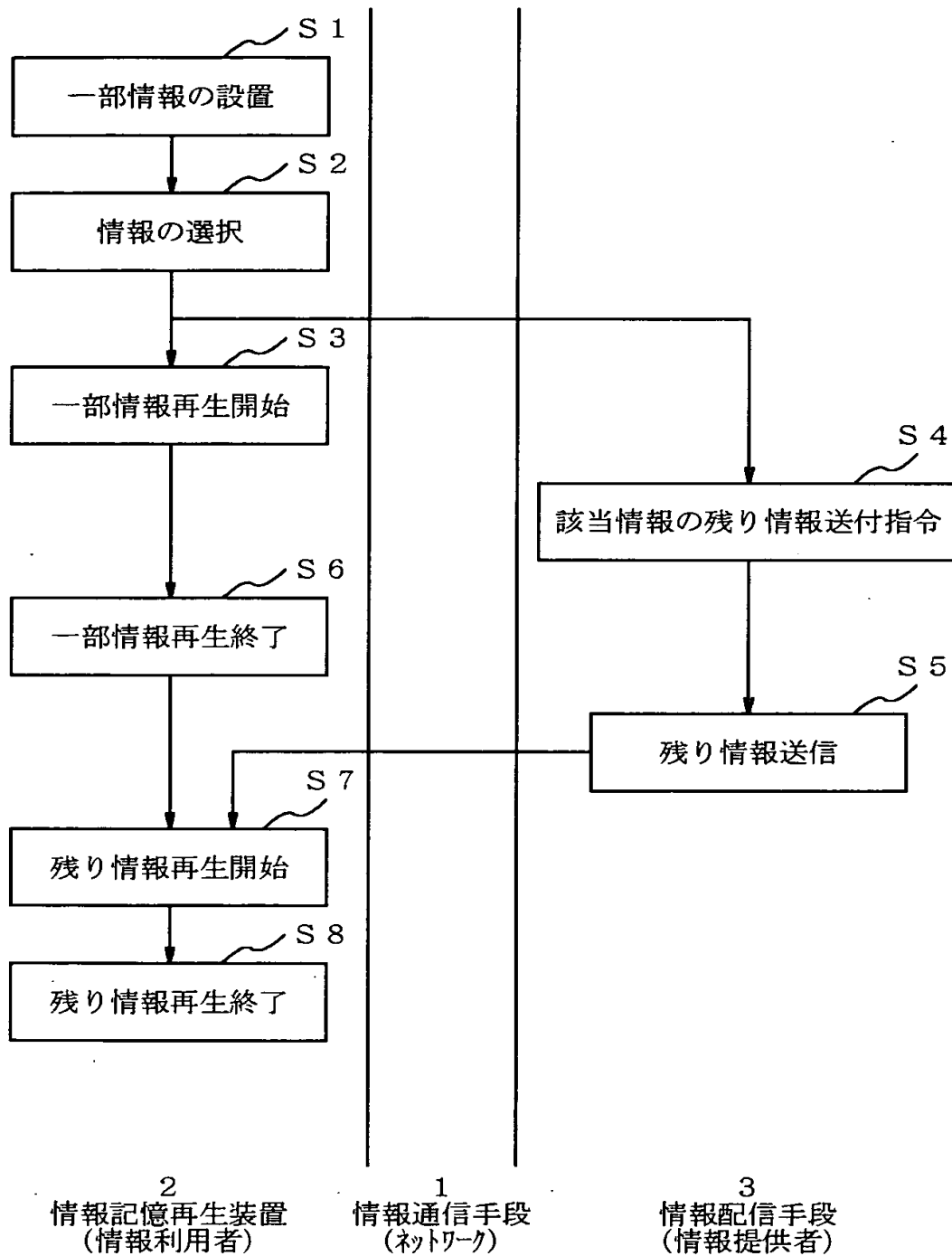
- 1 情報通信手段
- 2 情報記憶再生装置
- 3 情報配信手段
- 4 課金システム
- 5 決済システム

【書類名】 図面

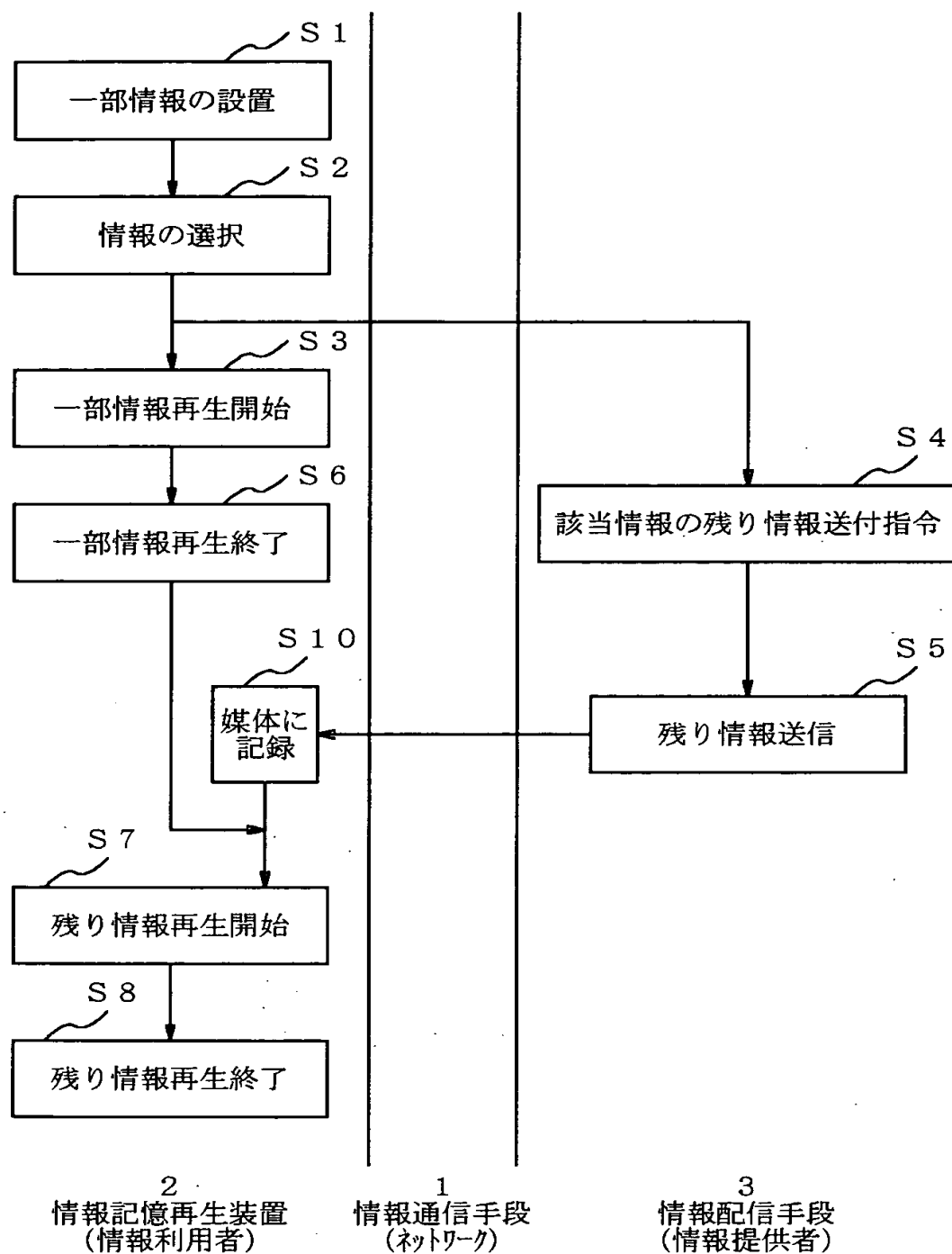
【図 1】



【図 2】

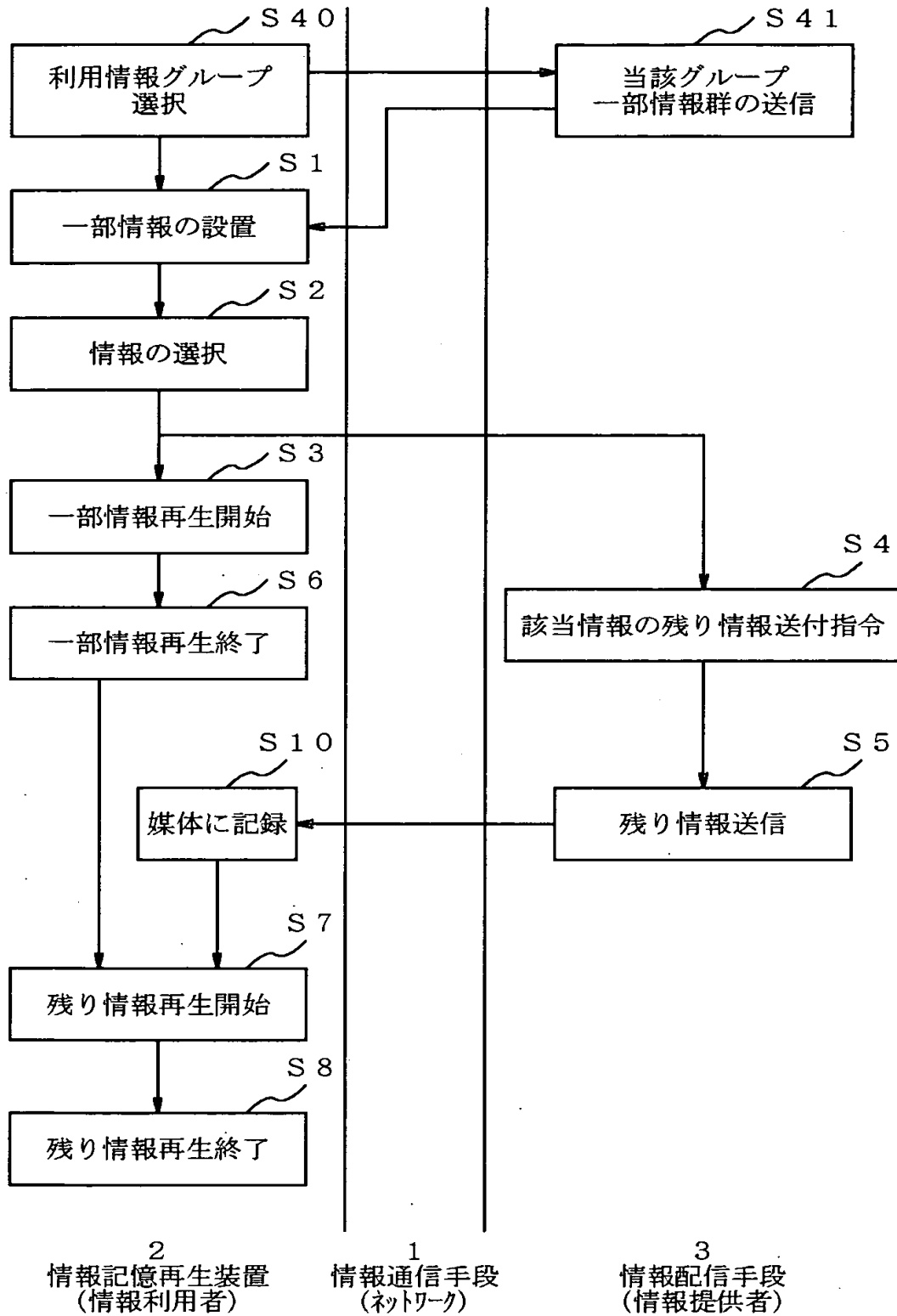


【図 3】

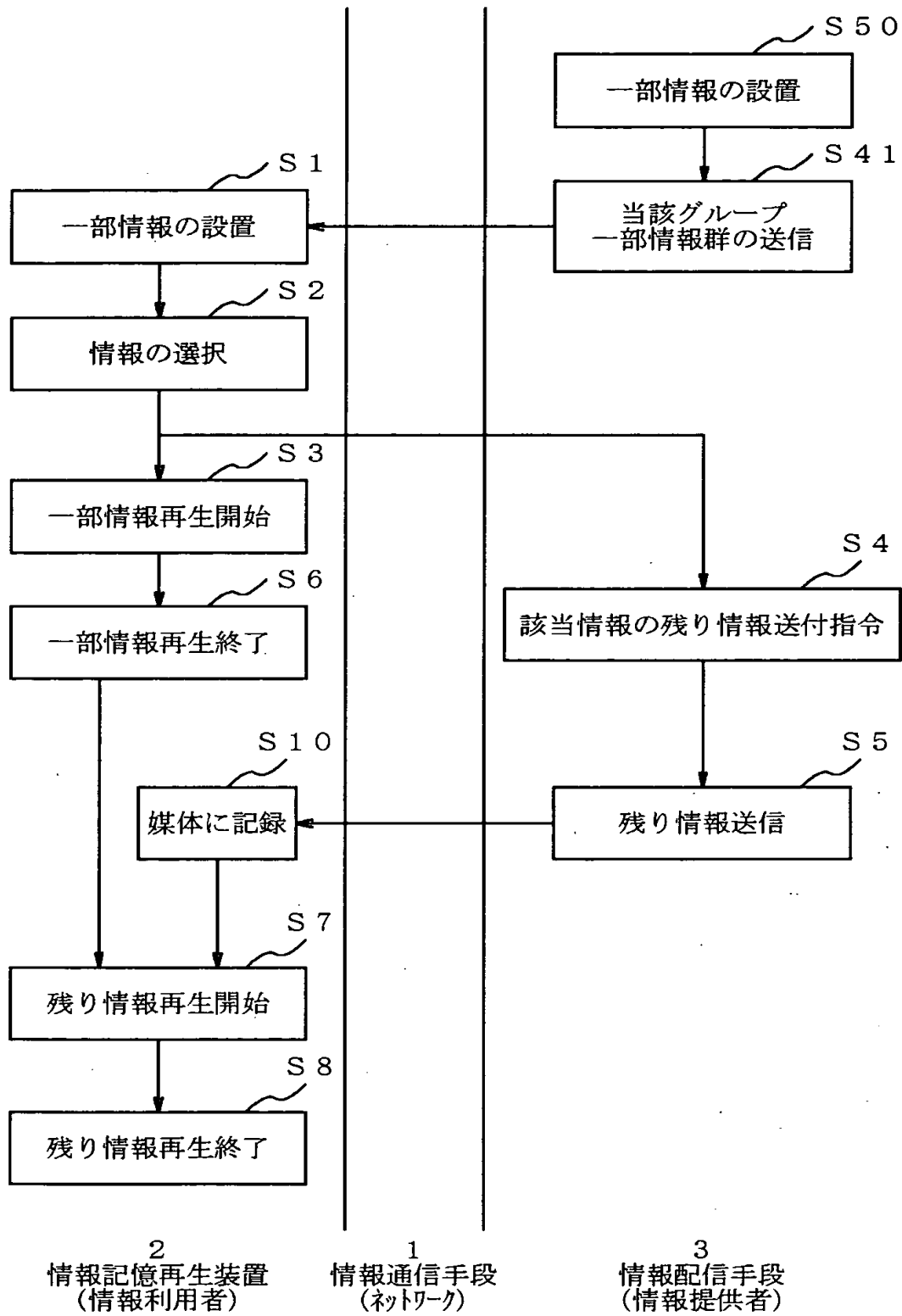




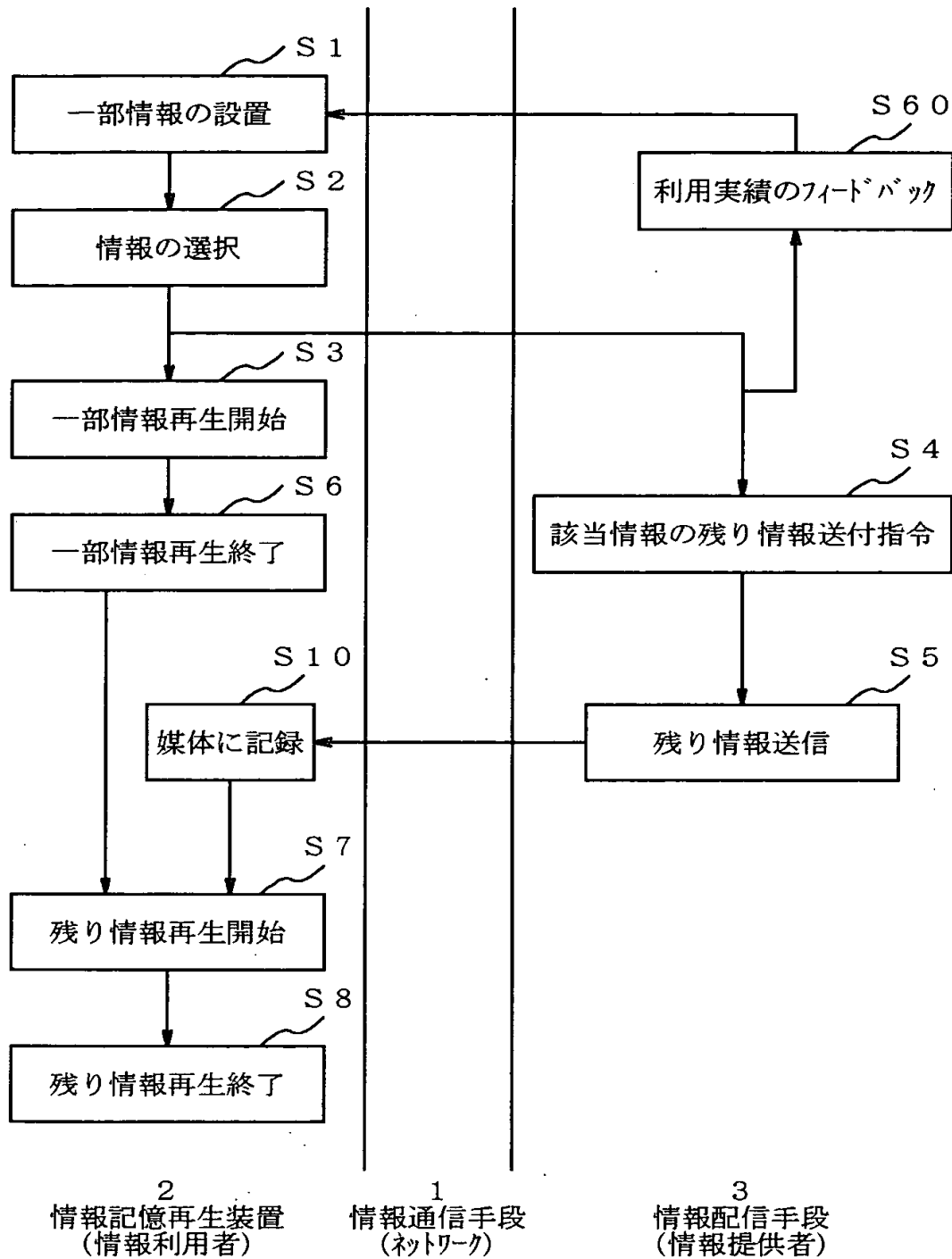
【図 4】



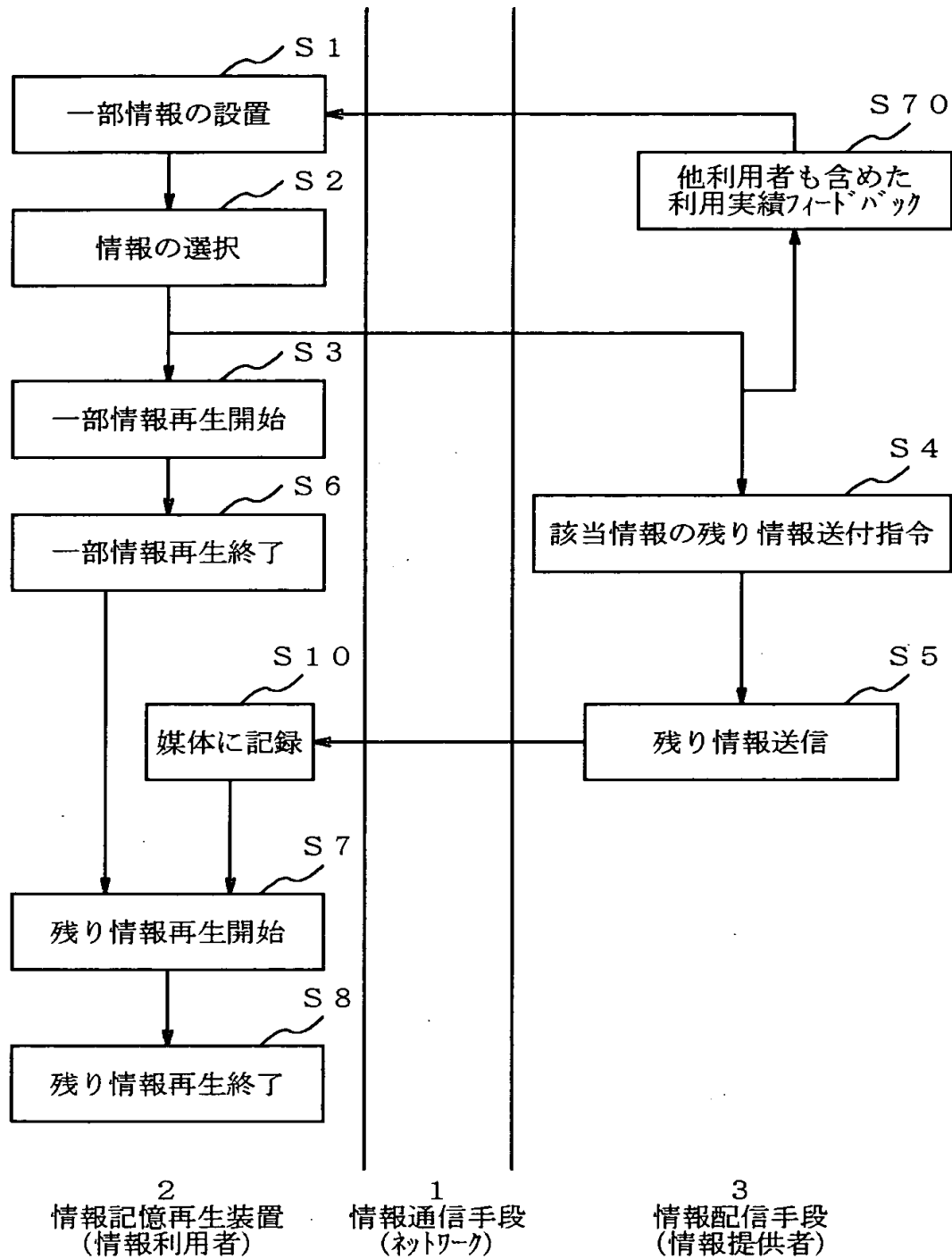
【図 5】



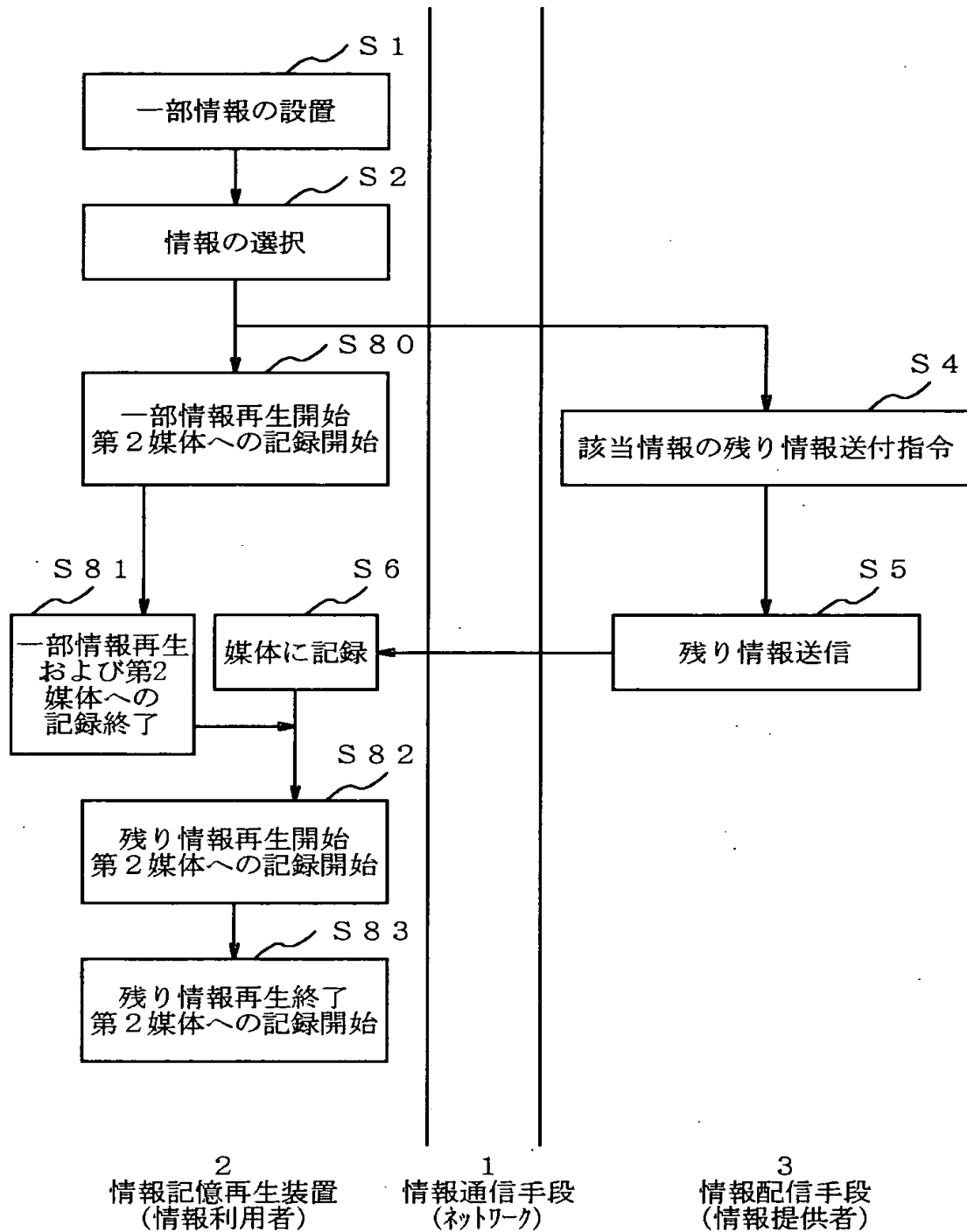
【図 6】



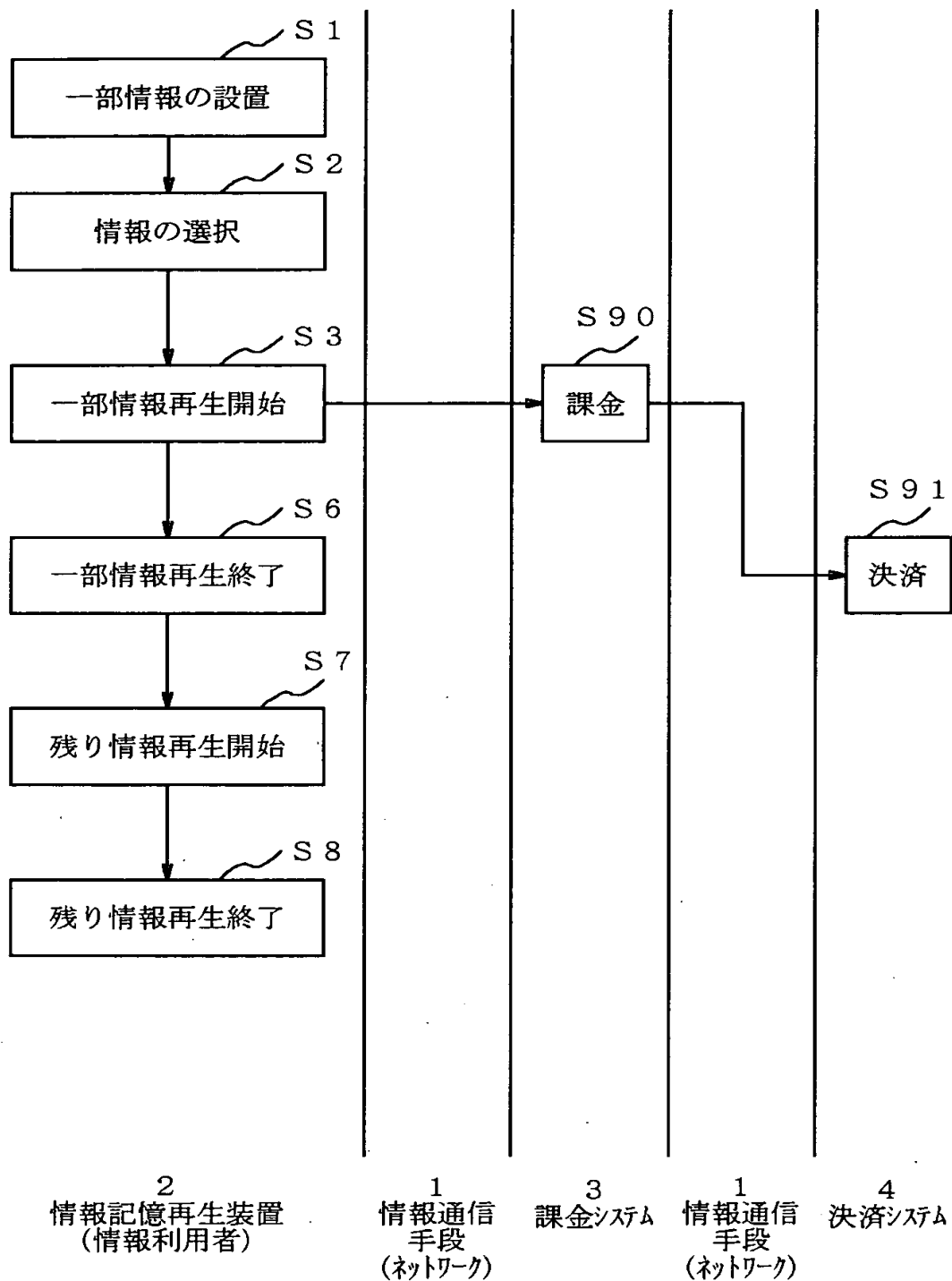
【図 7】



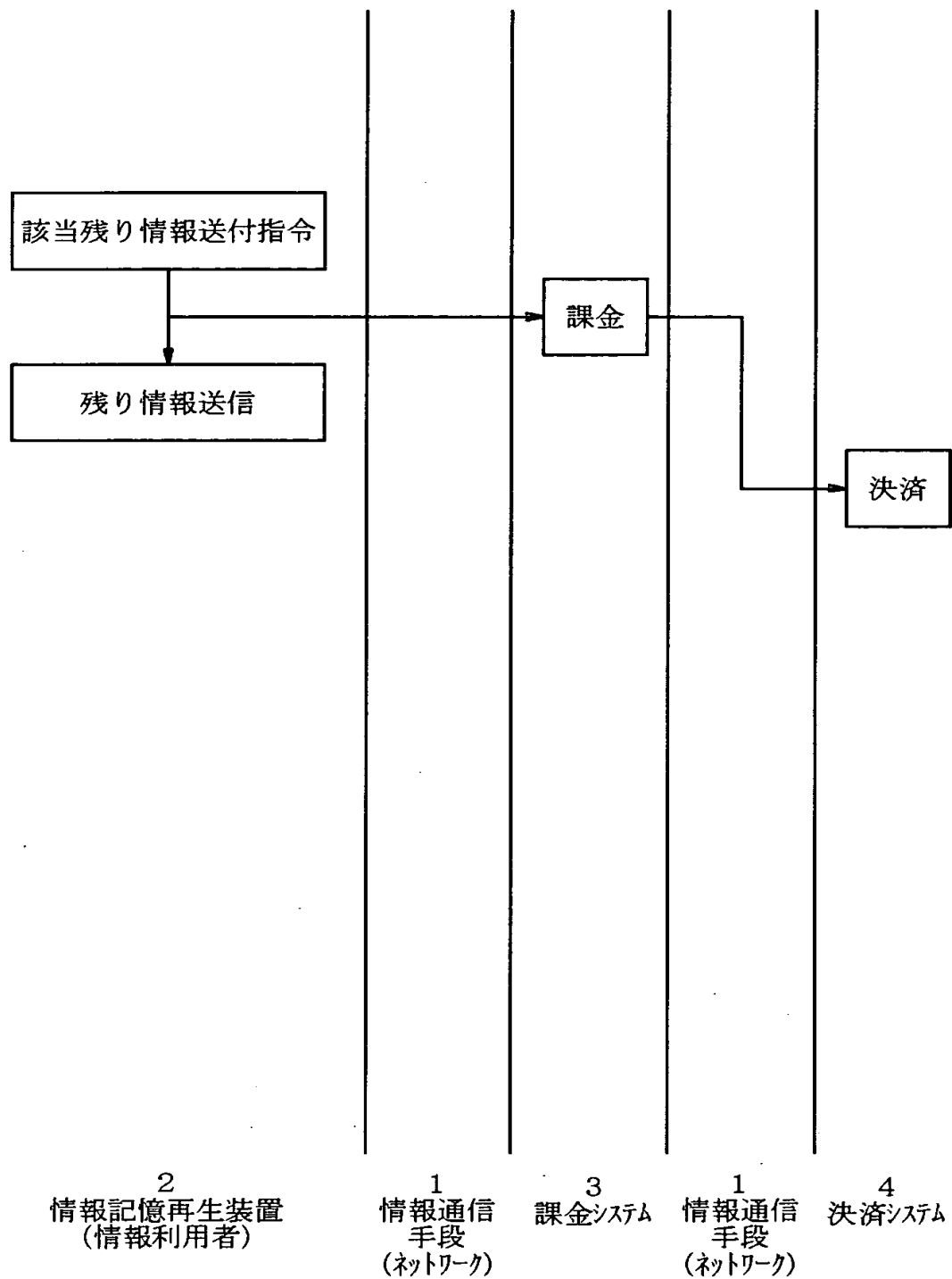
【図 8】



【図9】



【図 1 0】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 情報配信手段 3、情報通信手段 1、および情報記憶再生装置 2 からなる情報配信システムにおいて、配信情報の途切れや遅滞のないスムーズな情報配信を可能にする。

【解決手段】 情報記憶再生装置 2 が、配信情報の「一部の情報」を予め記憶し、記憶した情報を再生し、再生を選択した選択情報を、情報配信手段 3 に通知する。情報配信手段 3 は、情報記憶再生装置 2 が前記配信情報の「一部の情報」を再生している間に、情報記憶再生装置が再生を選択した配信情報の「残りの情報」を情報記憶再生装置に送信する。情報記憶再生装置は、再生を選択し、情報配信手段から送信されてきた配信情報の「残りの情報」を記憶し、「一部の情報」の再生が終了すると同時に、記憶している配信情報の「残りの情報」を再生する情報配信システム。

【選択図】 図 2



特 2 0 0 0 - 2 3 5 9 6 8

認 定 ・ 付 加 情 報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 2 3 5 9 6 8
受付番号	5 0 0 0 0 9 8 9 6 2 1
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 2 年 8 月 4 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成12年 8月 3日
-------	-------------

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社